本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

支社名	所在地	電話番号
大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3－2－95	TEL (06) 586-3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2－2－19	TEL (0722) 38-1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町39－6	TEL (0726) 71-0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2－3－17	TEL (0729) 62-1131
兵庫支社	〒650 神戸市中央区東川崎町1－8－2	TEL (078) 360-3100
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	TEL (075) 231-8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2－4－1	TEL (0742) 44-1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1－5	TEL (0734) 31-2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4－8	TEL (0792) 85-2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6－57	TEL (0796) 23-2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680－1	TEL (0775) 62-5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12－11	TEL (0749) 22-3131
(長浜営業所)	〒526 長浜市南呉服町3－4	TEL (0749) 62-7171
本社 ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4－1－2	TEL (06) 202-2221

大阪ガス株式会社

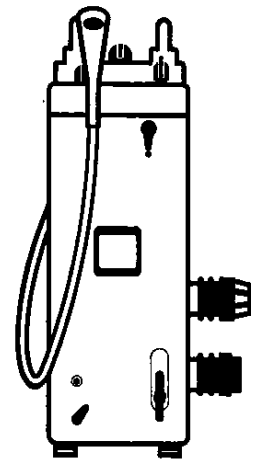
おねがい　ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、窓を全開にして（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

TRBF-65NW-02

ガスBF風呂釜

シャワー付タイプ

31-816/817型
818/819型

型式名 RBF-65NW

取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスBF風呂釜(シャワー付)をお求めいただきましてまことにありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

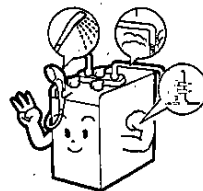
もくじ

特長・機能のご紹介

● 空気を汚さず快適です。

燃焼に必要な空気を屋外から取り入れ、排気も屋外へ。
浴室内の空気を使いません。

●1台で3役。

この風呂釜は給湯器を内蔵していますので、追いだき・シャワー・あがり湯と1台3役の働きをします。また、能力切替と湯温調節装置とで、経済的な湯かげんができます。

● お好みの湯温にできます。

シャワー・あがり湯は、湯温調節つまみと能力切替つまみの組み合わせでお好みの湯温に調節できます。
(9ページをご覧ください。)
また、シャワーと給湯の切替はワンレバー操作です。

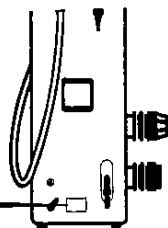
● 耐久性にすぐれています。

外装に耐久性のあるステンレスを使用しています。

● 風呂を沸かすときは、水からよりもお湯(出湯管から浴そうへ給湯する)からの方が速く沸きます。

必ずお守りください

■ガスの種類を確かめてください。

●器具前板に貼付されている銘板の表示以外のガスでは使用しないでください。

■用途についてのご注意

●風呂の追いだき、およびシャワー・あがり湯・給湯以外の用途には使用しないでください。
●器具内に長時間たまった水やお湯は、飲んだり調理に使用しないでください。

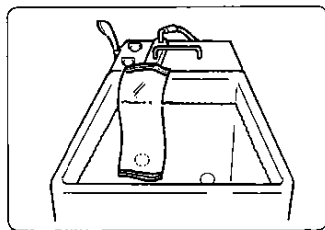
■補助用具についてのご注意

●この器具の純正部品以外は使わないでください。
●市販の湯ざめ防止器などを取り付けて使わないでください。（風呂釜の寿命を短くすることがあります。）

■空だきのご注意

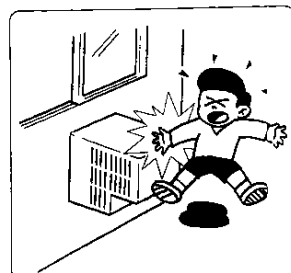
●追いだきをするときは、浴そうに水（またはお湯）が湯当りの上10cm以上あることを確かめてください。
●浴そうの排水栓は水漏れのないよう、しっかり差し込んでください。

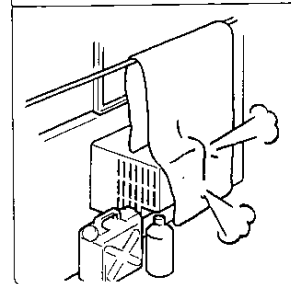
■入浴時のご注意

●追いだき中や追いだき後は、浴そう水の上部と下部には相当な温度差があります。
入浴時にはじゅうぶんかきまぜてください。
●浴そうの上下の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環口をふさぎますと循環不良となり、追いだきができません。

■入浴剤のご使用は

●イオウ、酸、アルカリをふくんだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因となるものがありますので入浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

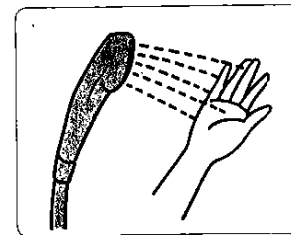
■やけどのご注意

●使用中および使用直後は給排気筒が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

■火災予防について

●屋外の給排気筒の上や、周囲には燃えやすいもの（紙、カーテン、ポリバケツ、ゴミ箱、揮発油など）を絶対においたり、近づけたりしないでください。又、洗たく物やビニールなどでふさがないでください。

■浴室の排水についてのご注意

●浴室の排水に気をつけて器具が水につからないようご注意ください。

■出湯についてのご注意

●出湯管（蛇口）にゴムホースやビニールホースを接続して他所へ給湯することは避けてください。
●シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。
●シャワーホースは折り曲げてご使用にならないよう注意してください。

必ずお守りください

■凍結予防について

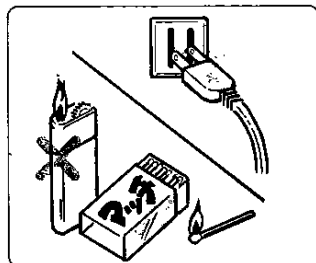
- 冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。
- 詳しくは12ページの「凍結予防のしかた」をご覧ください。

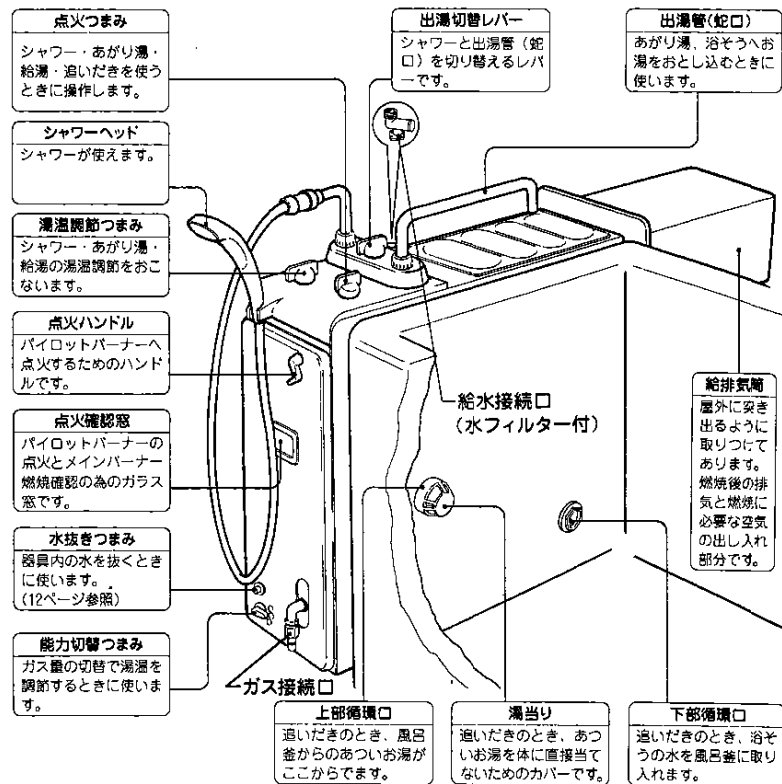
■日常の点検、お手入れ

- 日常の点検、お手入れは必ず行ってください。
- 詳しくは13ページの「点検・お手入れ」をご覧ください。

■ガス事故防止

- 使用後は必ずパイロットバーナーを消してください。引き続いてご使用になるとき以外はガス元栓も必ず閉めてください。
- 火をつけたままで就寝、外出は絶対にしないでください。
- ガス漏れに気づいたときはすぐに使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

ご注意 大阪ガスの係員が処置するまでは火をつけたり、電源プラグの抜き差しや近くの電気器具の「入・切」を絶対にしないでください。

- 万一異常と思われるとき(使用中に異常音のするとき等)はそのままお使いにならず、直ちにガス元栓・給水元栓を閉め使用を中止してください。
(14ページの故障かな？と思ったら)の項をお読みください。

各部のなまえと扱いかた

本図は31-816型を示します

31-817型の場合

- 給水接続口が本図より位置が逆になります。
- 出湯管(蛇口側)とシャワー側が本図より位置が逆になります。
- 能力切替つまみが逆になります。
- 上部循環口は、後側になります。

初めてお使いいただくときに

● この風呂釜は、給湯機能付です。水から沸かすより出湯管でお湯はりしてから、追いだきしてご使用ください。

ご注意
風呂の追いだきができるのは浴そうのお湯(または水)が湯当りの上10cm以上ある場合に限ります。

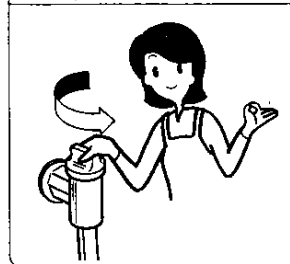
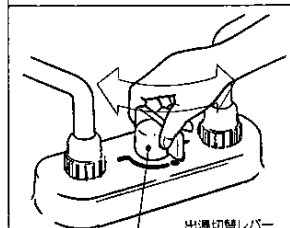
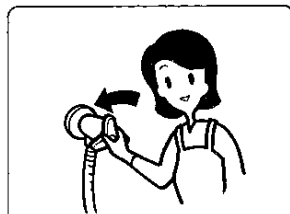
●ご使用前の準備と確認

1 水抜きつまみ が閉っているか確認してください。

2 給水元栓を全開にしてください。

3 ガス元栓は閉じたままで、出湯切替レバー を右及び左へいっぱいに回し、シャワー・出湯管の各々から水のでることを確認してください。

4 出湯切替レバー を真ん中までもどし、給水配管部より水漏れがないか確認してください。

5 点火つまみ が 止 の位置にあることを確かめてガス元栓を開けてください。

使用方法

● パイロットバーナーの点火

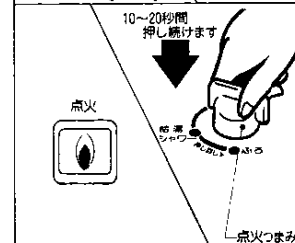
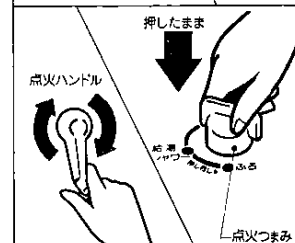
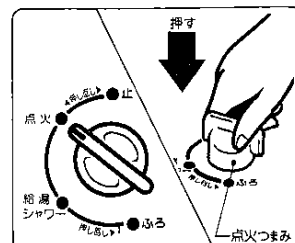
1 点火つまみ を押したまま左へ回し、「点火」の位置に合わせます。

2 「点火」の位置で 点火つまみ を押したまま、点火ハンドル を右へ数回、回しますとパイロットバーナーが点火します。

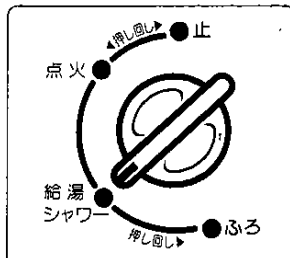
ご注意
はじめて使用される場合はガス管等に空気が溜っていますので、1回で点火しない場合があります。
このときは、パイロットバーナーが点火するまで 点火つまみ を押したままで 点火ハンドル を右へ回してください。

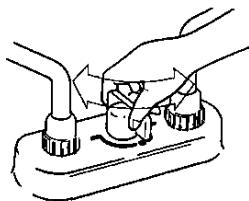
3 点火確認窓からパイロットバーナーの点火を確かめて、そのまま約10～20秒間 点火つまみ を押し続けます。

4 押している手を離してもパイロットバーナーが点火していることを確認してください。

ご注意
点火つまみ を押している時間が短かったり、押しかたが弱いと、手を離したときにパイロットバーナーが消えることがあります。そんなときは、もう一度2・3の操作をやり直してください。

使用方法

●給湯・シャワーの使い方

1 点火つまみ を「給湯・シャワー」の位置に正しく合わせます。

2 出湯切替レバー を「右」または「左」へいっぱいに回します。

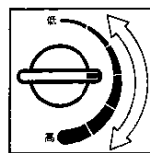
●点火音がして出湯管又はシャワーよりお湯がでます。

給湯・シャワーでお湯を使用中に 点火つまみ を「ふろ」まで回すと、同時に追いだきすることができます。(浴そうに水又は湯があることを確認してください。)

ご注意

●はじめにでるお湯はぬるく、継続して使用する場合はあついお湯がでますから、特にシャワーを使用されるときなど、出はじめのお湯を直接身体にかけず、手などで確認し、湯湯が安定してからご使用ください。

●断水後は水道配管中にエアーが混入し、そのまま使用されますとお湯が沸騰することがありますので、一度水を流しエアーが抜けたことを確認してからご使用ください。

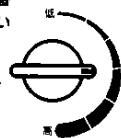
3 湯温を調節します。

(1) 湯温調節つまみ で湿度を調節します。

湯温調節つまみ

●「高」に回すと湯量が減ってあつくなります。

●「低」に回すと湯量が増えてぬるくなります。

「低」で1分間に約8ℓのお湯が、「高」で約3ℓのお湯がでます。

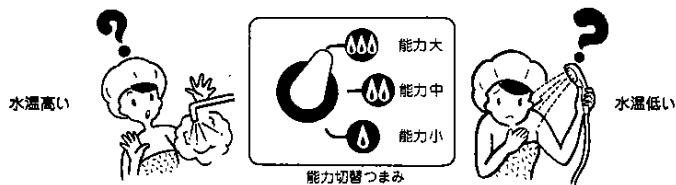
①湯温調節は、必ず湯温調節つまみで行ってください。出湯切替レバーでの湯量の調節はしないでください。

②湯温調節つまみは同じ位置につまみを合わせても、水温や水圧の変動により湯温が変わる場合がありますので、湯温を確かめてからご使用ください。

(2) 能力切替つまみ で湯温を調節します。

季節によって水温が変わると、湯温調節つまみ ではお好みの温度が得られないことがあります。湯温調節つまみ を「低」にしても、お湯があつすぎたり、「高」にしてもあつくならないときは、能力切替つまみ を回して調節します。

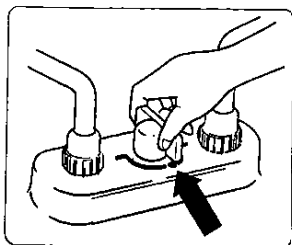
水温高い

能力切替つまみ

水温低い

能力切替つまみ は必ず 💧💧💧・💧💧・💧 のいずれかの位置(3段階)でお使いください。
つまみを 💧💧💧と💧💧・💧💧と💧 の途中で使用しないでください。

使用方法

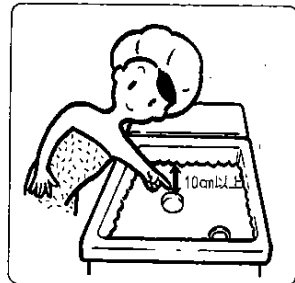
4 止めるときは 出湯切替レバー を真ん中まで戻します。

● お湯が止まります。パイロットバーナーは点火しています。

● お風呂を沸かす場合(追いだき)

● この風呂釜は追いだき用です。

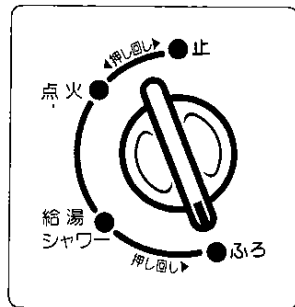
■浴そうへ水を入れてから沸かすより、出湯管でお湯はりしてから沸かすほうが早く沸きあがります。

1 点火前に浴そうの水(またはお湯)が、湯当りの上10cm以上あることを確かめてください。

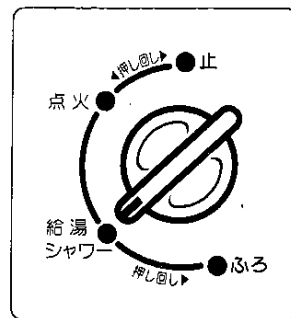
● 浴そうの排水栓は、水漏れのないようしっかり差し込んでください。

2 点火つまみ を押しながら「ふろ」に合わせます。

● 点火音がして追いだきを始めます。

ご注意 お湯(または水)が少ないと空だき状態となり器具の寿命を短かくします。この状態を長く続けますと危険です。水位には特にご注意ください。

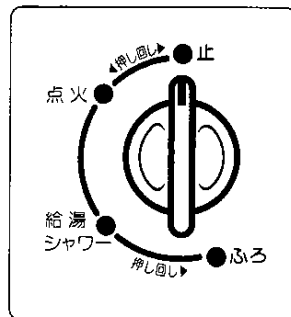
追いだきしながら給湯・シャワーを同時に使用することができます。

3 追いだきを止めるときは 点火つまみ を「給湯・シャワー」または「点火」の位置に合わせます。

● 追いだきを停止します。

■あとでお湯を使う場合は「給湯・シャワー」の位置にしておくとすぐ使用でき便利です。

● ご使用後

1 出湯切替レバー を真ん中に戻します。

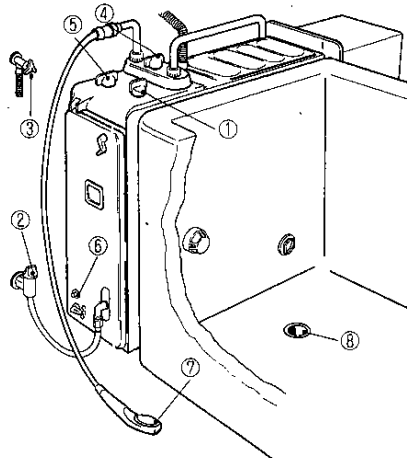
2 点火つまみ を押しながら「止」に戻します。

● パイロットバーナーが消火します。

ご注意
● 消火したことを「点火確認窓」から確かめてください。
● 入浴がすんでおやすみになる前、お出かけのときはガス元栓、給水元栓も必ず閉めてください。

凍結予防のしかた（暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。）

冬期は暖かい地方でも急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかる場合があります（有償）。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置をおこなってください。

● 器具内の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください。）

1. 点火つまみ①を「止」の位置に戻します。
2. ガス元栓②・給水元栓③を閉めます。
3. 出湯切替レバー④を出湯管（蛇口）側にします。
4. 湯温調節つまみ⑤を「低」に回し、水抜きつまみ⑥を左に回してゆるめ器具内の水を抜きます。
5. シャワーヘッド⑦をハンガーからはずし、床面まで下げシャワーホース内の水を抜きます。
6. 浴そうの排水栓⑧を抜き、浴そうの水を抜きます。
7. 次に使用するときは水抜きつまみを閉め、ガス元栓、給水元栓を全開にし、出湯切替レバーを出湯管（蛇口）側に回して水のでる事を確認してから操作してください。

● 水を流しっ放しにする方法（この方法は給水配管の凍結予防ができます。）

1. 点火つまみ①を「止」の位置にし、ガス元栓②を閉めます。
2. 出湯切替レバー④を出湯管（蛇口）側にします。
3. 給水元栓③で水を１分間約200cc（牛乳ビン1本ぐらい）流れるよう調節し、流しっ放しにしてください。

ご注意
- 上記の方法をしないで、器具が破損した場合は保証期間内でも有償です。
- 凍結したまま使われますと、器具に異常を生ずる場合があります。凍結が溶けた後、水漏れがないのをご確認の上、ご使用ください。

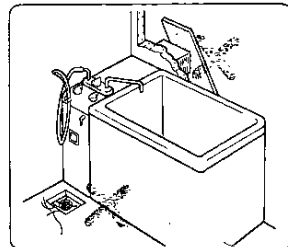
点検・お手入れ

- 点検・お手入れの前に必ずガス元栓を閉じ、器具が冷えてからおこなってください。
- 安全装置および、ガス通路部分は絶対に分解しないでください。

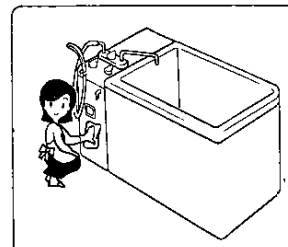
● 点　　検

- ゴム管がいたんでいないか時々点検して早目に交換してください。ガス接続部からガス漏れしていないか時々点検してください。
- 給水接続口のフィルター（ストレーナ）を時々掃除してください。
- 外壁に突き出した給排気筒の給気口・排気口をふさぐようなぞうきん・板などがないか点検してください。
- 浴室内の排水口を詰まらせないよう常に水はけが良くなるよう時々掃除してください。

定期点検のおすすめ

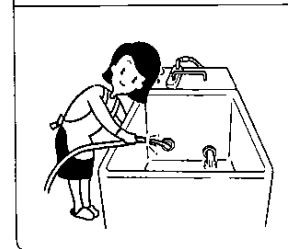
安心して、より長くご使用いただくために定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。

● お手入れ

1 外観の掃除

- やわらかい布に中性洗剤をつけて軽く拭いてください。
（ステンレスでもさびることがあります。金属性のヘアピン、カミソリ、おもちゃ、金属片等を置いたままにしておきますと、さびる原因となります。万一さびが浮き出た場合は乾いた布で拭き取ってください。そのまま放置しますと、さびは進行していきますのでご注意ください。金属タワシやワイヤブラシでこすらないでください。）
- 浴そうやタイルのみがき用薬品をご使用のとき、器具本体に原液が付着すると、腐食を著しく促進させますのでご注意ください。

2 風呂釜内の掃除

上部循環口の湯当りをはずし循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水をだします。上・下の循環口を交互に水洗いしてください。

3 シャワーヘッドの掃除

シャワーヘッドの噴出口をときどき針などで掃除してください。

故障かな?と思ったら

こんな場合は故障ではありません。

現象	理由と処置
長時間使用しなかった後、なかなかパイロットバーナーに点火しない。	パイロットバーナーに点火するまで点火操作を行ってください。
高温出湯にするとお湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると、気泡となってあらわれるためで、異常ではありません。
冬期、給排気筒から白い煙がでることがある。	ガス燃焼中に発生する水蒸気等でガス漏れではありません。
追いだき中に浴そう内をかく拌すると「ポコン ポコン」と異音が発生することがある。	かく拌することで風呂釜内のお湯の流れが変わるからです。かく拌を止めると自然に止まります。
使い始めや、使い終ってからしばらくして、器具で「ポコン」と音がすることがある。	本体が温められたり、冷えていくときに多少伸びたり縮んだりするためです。

■故障かな?と思われたら、ただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき(現象) ＼ お調べいただくこと(原因)	パイロットバーナー		メインバーナー								処置方法	参照ページ
	点火しない・しにくい	点火つまみから手を離すと消える	着火しない・しにくい	使用中に消火する	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	高温では着火するが低温では着火しない	出湯切替レバーを操作しても着火しない	追いだきが使えない	かま鳴りがする		
ガス元栓の開け忘れ・不十分	○		○		○						ガス元栓を全開にする	6
ガスが無い(LPガス用)	○		○	○	○						☎交換を依頼する	–
ガス圧が適切でない	○		○	○	○	○					☎点検を依頼する	–
ガス管の折れ曲り・つぶれ	○			○	○						折れ、曲りを直す又は交換する	–
給水元栓の開け忘れ、不十分			○			○	○	○			給水元栓を全開する	6
水圧が適切でない			○	○		○	○	○			☎点検を依頼する	–
水フィルターづまり			○	○		○	○	○			☎点検を依頼する	–
凍結している								○			解凍まで使用を中止	12
点火操作が適切でない	○										「使用方法」のP7参照	7
点火つまみ保持時間不足		○									「使用方法」のP7参照	7
循環パイプ施工不良										○	☎点検を依頼する	–
バーナー炎口づまり			○								☎点検を依頼する	–
浴そうの水が少ない				○						○	浴そうに水を加える	10
点火つまみの位置が適切でない									○		「使用方法」のP10参照	10
出湯切替レバーの位置が適切でない						○		○			「使用方法」のP8参照	8
湯温調節つまみの位置が適切でない					○	○					「使用方法」のP9参照	9
能力切替つまみの位置が適切でない					○	○					「使用方法」のP9参照	9
安全装置が作動	○	○	○	○							☎点検を依頼する	–

- ☎印、または再び同じ状態になるときや、ご不明な点はお買い求めの販売店、または最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 修理は絶対にお客様ご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

寸法図

■31-816型（右水管・後排気）
［31-818型（右水管・左排気）］

■31-817型（左水管・後排気）
［31-819型（左水管・右排気）］

仕様

●仕様

品番		31-816型・817型・818型・819型		
形式の呼び		RBF-65NW		
外形寸法（mm）		高さ640×幅230×奥行560		
重量（kg）		本体17.5　給排気筒 200型 3.5		
点火方式		圧電点火式		
配管接続口径	ガス	φ13mm又は15A（R½）		
	給水	15A（R½）		
1時間当りのガス消費量（kcal/h）		給湯（大）	風呂	同時使用時
	都市ガス用13A	12,400	8,500	20,500
	LPガス用	1.03kg/h	0.71kg/h	1.71kg/h
出湯能力（ℓ/分）		水温＋15℃上昇	水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
	都市ガス用13A	（10.7）	6.5	4.0
	LPガス用	（10.6）	6.5	4.0
※沸き上り時間（分）	都市ガス用13A	44		
	LPガス用	44		
循環口取付口径		φ45mm		
給湯	最低作動水圧	出湯管 高0.3kgf/cm²～低0.4kgf/cm²		
		シャワー 高0.5kgf/cm²～低0.6kgf/cm²		
	水量	8.0ℓ/分～3.0ℓ/分		
給排気筒		壁貫通部穴径：高さ350mm×幅230mm		
安全装置		・立消え安全装置・過圧防止安全装置・過熱防止装置・空だき安全装置		
附属品		取扱説明書・工事説明書・保証書		

※浴そう180ℓの水を、水温15℃から水温40℃にする時間。
◎本仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
◎出湯能力は計算値です。
◎使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のときです。

保管とアフターサービス

●保管（長期間使用しない場合）

- 給水元栓・ガス元栓を閉め、水抜きを行ってください。（12ページの「器具内の水を抜く方法」をご覧ください。）浴そうの水も抜いてください。
- 再使用するときは、しばらく水を流してから使用してください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 14ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
  なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品名……… **ガスBF風呂釜（シャワー付）**
2. 品番……… **器具の前板に貼付してあります。**
   例 **（N）31-818 大阪ガス株式会社**
3. **故障・異常の現象……… できるだけ詳しく**
4. **お客様名・住所・電話番号**

転居される場合

- **ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。**
  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- **この器具には保証書がついています。**
  このガスBF風呂釜（シャワー付）は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- **補修部品の保有期間と修理について**
  当社は、当商品製造中止後7年を基準に修理用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。